



高橋 浩 議員
(花巻クラブ)

花巻城跡整備構想の必要性は 計画的な継続調査が必要

Q 本市の誕生の歴史に欠かすことのできない花巻城跡、城下町としての歴史と文化の薫りあふれるまちづくりのため、今後の姿の在り方をどう展望していくのか、保存計画や整備方針を伺う。

A 【教育長】 平成14年度に設置した「花巻城環境整備推進委員会」から意見を伺いながら、平成19年度まで花巻城セミナーとして散策会や講演会を開催した。花巻城跡については、全体の保存状況を確認するとともに、遺跡の全体像を明らかにするための計画的な継続調査が必要である。平成27年度は、これまでの調査結果や文化財保護審議会の意見を踏まえ、文化財としての保存活用の視点から城郭に関する専門家の方々、関係団体、地域住民の意見を伺いながら調査委員会設置に向け準備作業を進める。

花巻ばやし踊りパレード

Q 全国の踊り愛好者団体の方々が200人以上、花巻まつりの開催に合わせてパレードに参加する動きがある。従来より大規模なパレードになると想定されるが、市内

外にどのようにPRし、花巻まつりを盛り上げていくのか伺う。

A 【市長】 花巻ばやし踊りパレードは、平成17年は15団体、1004人の参加者数であったが、昨年は11団体、751人と年々減少している。平成27年度は、全国の踊り愛好者団体の方々にお越しいただき、参加いただけると伺っており、1千人規模のパレードになると期待している。ポスターや報道機関に対する事前周知をはじめ、広く情報発信に努める。

【そのほかの質問】 久田野遺跡について、新花巻駅前の活性化対策について



計画的な継続調査が必要な花巻城跡

市政「こが聞きたい」
いっぱん質問



阿部 一男 議員
(平和環境社クラブ)

総合花巻病院移転の市の対応は 候補地を厚生病院跡地軸に検討

Q 「地域医療ビジョン」では医師が県内他市に比べ不足していると分析しているが、医師確保策を伺う。また、総合花巻病院は施設の老朽化のため移転を検討し、移転先は県立花巻厚生病院跡地を選択肢としているが、当該病院の移転に対する市の対応を伺う。

A 【市長】 医師確保の奨学金制度である市町村医師養成事業に県や他市町村と一緒に負担金を拠出している。今後も医師確保の取り組みを積極的に進める。

総合花巻病院に今後も市の中心部においてこれまでと同様の役割を担っていたと考えており、移転検討の支援をしている。厚生病院跡地の建物解体、土壌汚染対策費用を県の当初予算案に計上していただいたので、当該跡地を移転候補地とすることを軸にその活用方法を早急に検討していく。

支援センター充実策は

Q 地域包括支援センターは地域ケア会議の運営、在宅医療と介護の連携、認知症対策の推進を担当するが、その充実に向けた施策を伺う。



充実が期待される地域包括支援センター

A 【市長】 在宅医療介護連携、介護予防や認知症施策の推進、地域ケア会議の充実等を図る上で、地域包括支援センターの役割はさらに重要になっており、生活圏域の地域特性や実情を踏まえた運営を行い地域の介護・福祉サービスの中核機関として、機能を果たしていく必要がある。

来年度においては、認知症の専門的相談支援を行う認知症地域支援相談員を配置するほか、センター職員員の援助技術向上にさらに取り組む。

【そのほかの質問】 市長施政方針について



瀬川 義光 議員
(市民クラブ)

早池峰山を活用した観光振興は 滞在型の観光をめざしていく

Q 早池峰山は花巻市の象徴と言える山だが、自然保護活動と併せて、観光資源として活用し、交流人口の拡大につなげるための取り組みについて伺う。

A 【市長】 早池峰山を観光資源として活用するには、自然環境の保護について周知を図りつつ、登山者および周辺を訪れる観光客にターゲットセンターや花巻市総合文化センターにおいて、周辺の地形や歴史、自生する高山植物や動物についての展示や解説により学習の場として利用していただく。また、岳の大迫郷土文化保存伝習館や神楽公演の見学、さらにはワイン工場での試飲などを融合した滞在型の観光となるよう、情報の提供に努め、周辺地域の活性化を図っていく。

公共施設の適正配置は

Q 公共施設の適正配置計画（ファシリティマネジメント）の必要性についてどのように認識されているか。また、今後の取り組み方針について伺う。



観光資源としての活用が望まれる早池峰山

A 【市長】 今まで整備してきた公共施設が更新時期を順次迎えること、人口構造の変化により、施設の利用需要が変化していくことが予想されることから、公共施設全体の最適な配置の実現は大変重要と認識している。平成27年度に「公共施設等総合管理計画」の策定に着手し、現況調査や現地調査を行うほか、市民アンケートによる意識調査を行い、課題を抽出、分析し今後どのように公共施設を管理していくか基本的な考え方を定めていく。

【そのほかの質問】 橋梁のかけかえと歩道整備について

市政「こが聞きたい」
いっぱん質問



藤井 英子 議員
(花巻クラブ)

花巻市高齢者いきいきプラン 相応の職員配置で万全な支援

Q 今回の計画は、国の制度改正への対応、団塊の世代すべてが75歳以上となる平成37年を見通し、持続可能な制度とするための中期的視点に立ったものである。地域の実情に合った地域包括ケアシステムの構築、平成29年度から実施される新総合事業への取り組み等、計画推進のために十分な職員体制が必要と考えるがどうか。

A 【市長】 高齢者等が安心して暮らせる地域包括ケアシステムの構築に向け、高齢者のニーズに即した、多様な主体による、住民参加型の生活支援サービスを圏域ごとに創出する必要がある。現時点では、室の設置までは検討していないが、相応の職員配置を行い、万全な支援をしていく。

女性の力を市政全般に

Q 多くの女性たちの声、力を市政全般に生かす具体的な取り組みを伺う。

A 【市長】 花巻市男女共同参画基本計画では、4つの基本目標を掲げている。1つ目は「男女が互いに尊重し認め合うまち」で、意識啓発のため市民フォーラム等の開催、市広報紙



さらに充実へ見直しとなる男女共同参画基本計画

で情報提供している。2つ目は「男女ともに自立し支え合うまち」で、安心して子育てができる環境整備として、延長・一時保育の実施や学童クラブ等の整備、花巻市女性団体ネットワークの会を構成し行政との情報交換等を行っている。3つ目は「男女が生涯にわたって健康で安心して暮らせるまち」で、妊婦を対象とした母親学級を開催し交流の場を提供している。4つ目は「男女ともにいきいきと参画できるまち」で、行政やまちづくりへの市民参画を旨とし「審議会等の設置及び運営に関するガイドライン」で、女性委員の目標割合を35%に設定し積極的な登用に努めている。

【そのほかの質問】 医療介護の連携について、子育て支援事業について